

2022年11月9日

2022年度第2四半期決算説明会 質疑応答

沖電気工業株式会社

Q：サプライチェーン影響の下期見込みは？

A：全般的な環境としては上期から大きく変わらず、厳しい状況が続くものと想定。生産状況やお客様との納入時期についての調整の他、価格適正化の進捗等影響額については精査中。

Q：同業他社でサプライチェーン影響により今回業績予想を下方修正している会社もある中で、業績予想据え置きということはある程度達成の見通しがあるという理解でよいか？

A：サプライチェーン影響は事業分野により異なり、下期は期待ができる事業もある。またソリューションシステムの入札案件など未確定なところも非常に多く、現時点ではまだはっきりしたことは申し上げにくい状況。

Q：自動機事業のATM出荷台数について、国内、海外の上期実績と年間見込を確認したい。

A： 上期実績 国内銀行向け： 500 台
流通向け： 1,150 台
海外向け： 1,180 台
合計： 2,830 台

年間見込は 8,300 台程度(当初計画の約 4 割)を見込む。

Q：下期出荷を見込んでいるATMの部材確保はできているのか。

A：調達目処は立っている。

Q：2024年に予定されている新紙幣発行によるATM等の更新需要はどのくらいを見込んでいるか教えてほしい。

A：今期は見込んでいない。来期以降の取り込みを計画している。

Q：ソリューションシステムの受注状況や受注残を教えてください。

A：受注状況は概ね計画通りである。また、受注については、第 4 四半期偏重の状況において、どのように開示すべきか、意味のある数値を開示できるよう検討している。

Q：EMS 事業において、円安を理由として海外メーカーから OKI への切り替え需要はあるか。

A：為替影響を理由とした受注増といった認識は特にない。

円安影響よりも、高品質/高信頼性を求めるお客様からの需要が高い。

（注）本資料における予想、見通し、計画等は、現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。なお、記載内容につきましては実際のやり取りに即しておりますが、理解しやすいように部分的に編集を加えております。